

関西国際空港 豊かな藻場環境の創造 ～2024年度 活動報告～



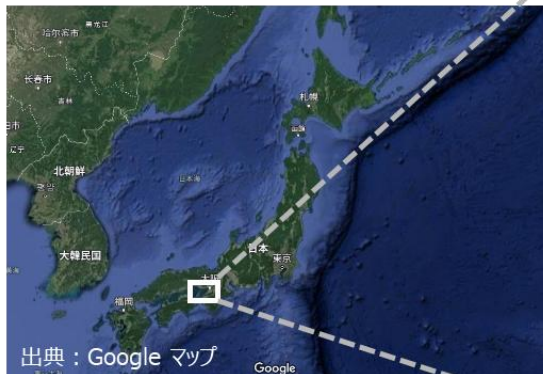
Shaping a New Journey



目次

1. 関西国際空港の紹介
2. 関西国際空港の藻場について
3. Jブルークレジット認証の取得（2022年12月）
4. 2024年度の活動報告
5. 過去のモニタリング結果と今後について

1. 関西国際空港の紹介



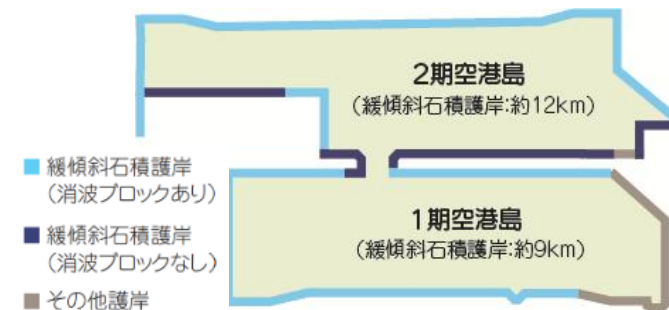
航空機騒音の影響が周辺地域に及ばないよう、大阪湾南東部泉州沖約5km、平均水深18～20mの海域を埋め立ててつくった空港です。

関西国際空港島

1988年12月 1期空港島護岸概成（総面積510ha）

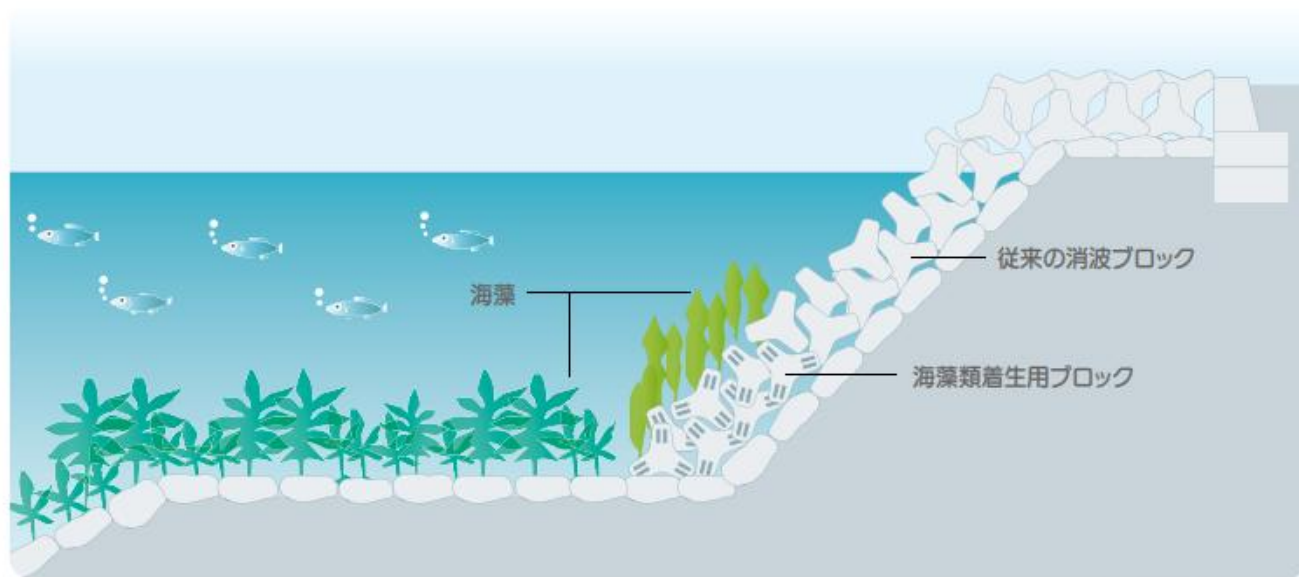
2001年11月 2期空港島護岸概成（総面積545ha）

計画当初から海域環境との調和に配慮した造成がなされ、護岸の総延長24kmのうちの大部分に「緩傾斜石積護岸」を採用しています。



2. 関西国際空港の藻場について

- 緩傾斜石積護岸の採用により広い範囲に光が届くようになること、また、造成時に積極的に大型海藻の移植や種付け等の各種工夫をしたことで豊かな藻場環境が生まれ、現在周辺には多種多様な生き物が生息しています。
- 種苗移植を開始した直後の1989年から海藻分布状況の調査を開始し、現在までの約35年間モニタリング調査を継続して行っています。
- 2022年3月の調査において、海藻着生総面積（藻場面積）が54haであることを確認しています。これは大阪湾の藻場面積のおよそ2割に相当し、産卵や育成の場として水産資源の供給、水質浄化、さらにはCO2の吸収を通じてCO2排出量の削減にも寄与しています。
- 良好な藻場環境の維持・拡大をめざし、近年ではモニタリング調査のみならず、藻場再生にも取り組んでいます。



緩傾斜石積護岸



ガラモ場に集まるメバルの稚稚魚



カジメ



シダモクなど

3. Jブルークレジット認証の取得（2022年12月）



Jブルークレジット発行証書

- 関西国際空港周辺護岸に生育する海藻によるCO2吸収量を定量化し、Jブルークレジットの認証・発行を受けました。
- これまで行ってきた藻場の環境創造が、CO2排出量の削減にもつながる取り組みに発展しています。

CO2吸収量：103.2 t-CO2（2017～2021年度の5年分）

4. 2024年度の活動報告

地域との連携 ～海藻の移植～

- 2024年5月、大阪府が行うブルーカーボン生態系創出支援事業と連携し、関西国際空港に生育する大型海藻の母藻を堺市7-3区の海に移植しました。



提供した海藻



ロープ掛け付け作業



堺7-3区 母藻設置作業



4. 2024年度の活動報告

1期、2期空港島護岸全域における海藻類分布調査

■ 2025年3月に、1期、2期空港島護岸全周において、潜水目視観察による海藻類分布調査を実施しました。



4. 2024年度の活動報告

取り組みの成果

🏆 2024年5月、ACI（国際空港評議会）が主催するGreen Airports Recognition 2024において、KIXで取り組む「豊かな藻場環境とブルーカーボン創造プロジェクト」が最上位となるプラチナ賞を受賞しました。



🏆 2025年2月、第2回全国海の再生・ブルーインフラ賞において、「関西国際空港 豊かな藻場環境の創造」がみなと総研賞を受賞しました。



4. 2024年度の活動報告

情報発信・イベント等

- 関西国際空港ターミナルビル内に、環境に関する展示ブースを新たに設置しました。実際に空港島周辺で撮影された海中映像を活用しながら、関西国際空港周辺の海の豊かさや藻場の役割を、空港を利用するお客様に楽しみながらご覧いただけるスペースとなっています。
- 「海域環境向上に向けた次世代への教育」を目的とし、近隣自治体の阪南市と連携し、地元小学校への出張授業を実施しています。関西国際空港での藻場への取り組みや、大阪湾での海の環境に関する取り組みを紹介するなど生物多様性の重要性を広めています。
- 関西国際空港開港30周年を記念し、大阪府漁業協同組合連合会と合同で海上から空港を見る環境ツアーを開催しました。小学校高学年のお子様と保護者様に、関西国際空港の藻場環境の見学やキジハタの放流体験などを通じて、生物多様性の重要性を学んでいただきました。



関西国際空港 ターミナルビル内 環境関連展示ブース
Environmental exhibition booth at KIX Terminal building



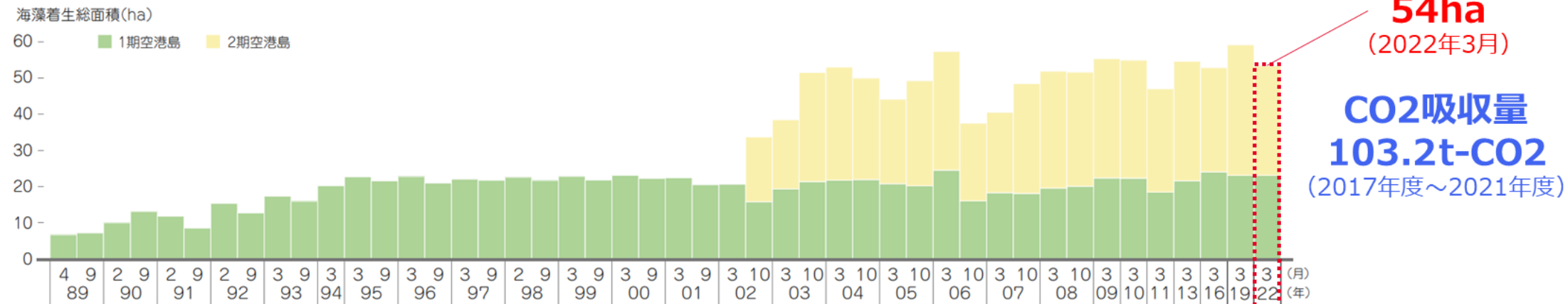
地元小学校へ出張授業
Classes at local elementary schools



海上から見る空港ツアー
A tour to learn about KIX from the sea

5. 過去のモニタリング結果と今後について

藻場の生育状況



今後について

- モニタリング調査を継続して行い、とりまく環境変化にも対応しながら、安定した藻場環境の形成・維持に取り組みます。最新の調査データをもとに、ブルーカーボン量の算定を行います。
- 大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）*や個々の取り組みを通して、地域と連携した藻場環境の創出・生物多様性の保全に積極的に取り組みます。
- 大阪・関西万博を通じて、次世代を担う皆様への環境教育や積極的な情報発信に取り組みます。